

2024年度

株式会社ローソン

行動目標 1

取り組む課題	食塩（ナトリウム）の過剰摂取
中長期的な目標	ナチュラルローソン業態にて、PB商品（指定カテゴリー）の新商品の食塩相当量を2025年度までに段階的に減らす。 各年度の新商品において、次の食塩相当量を実現する。（年度：3月～翌2月） 非訴求型の取り組みとする。 ■2022年度（11月～） ・対象カテゴリー：米飯（弁当）、調理パン、調理麺、デリカ（サラダ） ・食塩相当量：一食完結商品2.7g、買合せ商品1.35g ・目標設定の考え方：既存品の基準（3g以下／1.5g以下）の10%を削減 ■2023年度 ・対象カテゴリー：米飯（弁当＋おにぎり＋寿司）、調理パン、調理麺、デリカ（サラダ＋スープ等） ・食塩相当量：一食完結商品2.4g、買合せ商品1.2g ・目標設定の考え方：「日本人の食事摂取基準2020年度版」の、30-49歳男女の目標値の平均より算出 （1日3食と仮定し、目標値を3で割った値を1食あたりの摂取目標と換算） ■2024年度 2023年度目標と同様 ■2025年度 ・対象カテゴリー：23年同様の予定 ・食塩相当量：一食完結商品2.3g、買合せ商品1.2g ・目標設定の考え方：「日本人の食事摂取基準2020年度版」の、30-49歳女性の目標値より算出 （1日3食と仮定し、目標値を3で割った値を1食あたりの摂取目標と換算） ※一食完結商品とは、商品1点で1食の食事が成り立つようなサイズ感の商品群を指す。 ※買合せ商品とは、複数の商品で1食の食事が成り立つようなサイズ感の商品群を指す。 ※一般的に買合せ商品と思われる商品群でも、原料由来の食塩相当量が高く調整が難しい商品群は、一食完結商品と同様の目標値を適用する。（調理パン、おにぎりの一部、惣菜の一部、サラダの一部） ※タイアップ商品は対象外。
行動計画	同上
実施期間	2022年11月～2026年2月
評価指標（KPI）	該当カテゴリーの新商品全品の食塩相当量（1食あたり）目標達成率90%以上 ※1年毎に達成状況を確認

評価指標の直近の数値	2023年度は、97％で目標達成。 2024年度は、98.8％で目標達成。
評価指標のモニタリング手法	月に1回、該当カテゴリーの新商品全品の食塩相当量を算出する。
中長期的な目標 行動計画の背景・理由 現状の課題認識	既存品の基準値は過去よりナチュラルローソン業態で設定していたものの、その基準では1日3食喫食した際に「日本人の食事摂取基準」で示されるナトリウムの目標量が達成できないため。

実績報告

実績報告日	2025年5月27日
取組実施期間	2024年3月1日～2025年2月28日
実績	2023年度は97％で目標達成。 2024年度98.8％で目標達成。
実績等の補足説明	-
今後の計画とその理由	-